

# 賛成 討論

平成28年度の予算規模は452億8千万円であり、前年比1.6%減である。その中で注目すべき点は、土木費の対前年比22.8%、10億7,646万2千円の増である。赤岩線・幸橋線・新桐生駅周辺の整備事業、市営住宅の改修、住宅取得応援事業、武井西工業団地の造成及び周辺道路整備の増額が主な要因であるが、こういった公共事業発注増加が地域経済活性化に繋がると期待している。このことは、市長をはじめとする当局執行部が財源確保に積極的に取り組み、その成果が形になったものであり、敬意を表するとともに高く評価する。

桐生市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」において、桐生らしさという点では、既に群馬大学理工学部との連携による未来創生塾支援、サイエンスドクター事業、産学官連携の推進、住宅取得応援事業等多くの事業を行っているのも事実である。これらを更に充実させ、これからの桐生の顔にさせていただくことを強く要望する。

その他、平成29年度で終了する新生総合計画の次の計画策定に「幸せリーグ」の幸福度に関する研究成果も踏まえて基本的な考え方をまとめていくことについて大いに期待する。また、職員の人材育成に関して、様々な政策を企画立案するために、参考となる地域に調査研究に行く機会を増やすことも必要であると思うので、人材育成の施策として要望する。

「元気」「安心」「未来」を柱に市民のための市民にわかりやすい桐生らしい施策を展開していただくことを祈念し、賛成討論としたい。

# 反対 討論

安倍自公政権による格差と貧困が広がる中、どう市民生活を守るのか大きく問われるのが桐生市政の課題である。憲法25条を市政のなかでも筋を通して市政執行することが求められている。市民は日々の暮らしが大変だと悲痛な声を上げている。人口減少問題については、桐生に住んでみたい、住みたいという人をどう増やすか、桐生市に住んで子育てをしたいというまちをどうつくるか、子育て世代を全面的に支援することが必要である。また、高齢者の生活を支える問題として介護保険料の引き下げ、また国保税についても基金を取り崩して更に負担軽減を行うべきである。その他、城の岡団地周辺の環境問題や非正規職員が官製ワーキングプアにならないよう保障することも行政の大事な事項と申しあげ、反対討論とする。

平成  
28年度

# 予算を可決

この定例会では、平成28年度桐生市一般会計予算及び10事業の特別会計予算並びに桐生市水道事業会計予算について審議を行い、それぞれ可決しました。なお、同予算を可決するにあたっては、予算特別委員会（委員20人で構成）を設置し、3日間にわたり慎重に審査を行いました。本会議における討論の概要は左記のとおりです。



(審査の様子)

## お知らせ

◆次回定例会の開催予定は…

**5月30日(月)です。**

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。

◆議会報告会・意見交換会のお知らせ

桐生市議会は、平成28年第1回定例会の報告会と市民との意見交換会を下記のとおり行います。

申し込みは要りませんので、直接会場へお越しください。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

日時 平成28年5月25日(水) 午後6時～午後7時10分

場所 中央公民館

◆積極的に議会情報を発信しています



\*LINE(ライン)ははじめました。

